

高井戸小学校

「もっと読みたい!」「もっと知りたい!」を育む学校図書館

今の学校図書館

ゆったりと読書を楽しむ児童や司書におすすめの本を
尋ねる児童の姿が見られる。
解放感に満ちた図書館である。



学校図書館の運営

- ・「学校図書館全体計画」「学校図書館運営計画」により、学校図書館を運営している。
- ・国語の時間の読書活動は「授業の流れ」に沿って読書指導を行っている。
- ・毎週、図書館利用の確認プリントを配布し、学校図書館に関する情報を共有する。
- ・図書委員活動で「いい本みつけた」をキャッチフレーズとして 読書推進を行う。

1年間の主な活動

- ・年2回の読書旬間
- ・学校司書による本の紹介や読み聞かせ
- ・ボランティアによる朝の読み聞かせ(全学級)



特色ある取組

○図書委員会による読み聞かせ・本の紹介

図書委員が低学年の教室に出向き、おすすめの本を読み聞かせする。(年2回)

学校司書・読み聞かせサポーターから、読み聞かせ時のポイントを習ったりアドバイスをもらったりしながら、選書や読み聞かせを行う。

○読書郵便の実施

- ・全校児童が紹介したい相手に合わせて本を選び、カードに書いて送り合う活動をした。相手のことを考えて、おすすめの本を紹介することで、本だけでなく心も繋ぐことができた。

○教職員のおすすめの本紹介



全職員のおすすめの本をポスターで紹介。
心に残った場面を明記する。

これからの学校図書館

主体的に問いをもち、必然的な対話をしながら、児童の文脈で授業がすすめられるよう、学校図書館を効率よく活用できる工夫を行っていく。